

2014年度 理学部 生物科学科専攻科目教育課程表(2012・2013年度入学者に適用)

		1年						2年						3年						4年						卒業要件 単位数	
		前期(1セメスター)			後期(2セメスター)			前期(3セメスター)			後期(4セメスター)			前期(5セメスター)			後期(6セメスター)			前期(7セメスター)			後期(8セメスター)				
		授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者		
共通基礎 専門科目	必修科目 選択必修科目	PCリテラシー	2	張米澤	PCリテラシー	2	後																		4	6	
		生物学概論	2	1	生物学概論	2	4																		2		
		数学リテラシー	2	堀口	数学リテラシー	2	(休講)																				
A群	主要科目	物理学概論	2	荒船	物理学概論	2	(休講)																				
		化学概論	2	菅原	化学概論	2	川本																				
					生物科学実験 基礎生物学演習	3 2	6 7	○生物学演習D ○生物学演習U	2 2	鈴木(季) 安積 井上(和)				生物学特殊講義 生物学特殊講義 生物科学実験	1 1 6	19 20 17	総合生物学演習	2	専任教員	卒業研究 輪講	4 1		卒業研究 輪講	4 1		27	
B群	基礎系科目 生物系科目	解析B群 数学概論 物理学概論	2 2	川島 長澤	線形代数B群 数学概論 力学 21世紀基盤科学 化学概論	2 2 2 2 2	川島 木村(敬) 8 和田	基礎物理化学 科学技術英語 確率統計学	2 2 2	平田 10 山下	基礎化学実験 科学技術英語 基礎物理化学 物理学実験	3 2 2 3	11 12 谷本 13													10	
		基礎生物化学 植物機構学 動物機構学	2 2 2	(休講) 鈴木(季) 豊泉	基礎生物化学 生態学 植物発生学 地域の自然史 生物学概論 生物統計学	2 2 2 2 2 2	泉 鈴木(祥) 安積 9 18 鈴木(祥) 安部	内分泌学 発生生物学 微生物学 特別実習	2 2 2 1	小笠原 日野 齊藤(光) 小笠原 市川 横山	基礎生物化学 細胞生物学 進化生物学 発生生物学 分子生物学 特別実習 植物系統分類学	2 2 2 2 1 2	井上(和) 鈴木(季) 金沢 豊泉 大平 鈴木(季) 14 箸本	環境生理学 機能形態学 細胞生物学 植物生理学 分子生理学 システム生態学 生物情報学 蛋白質特論 特別実習 生物科学特論 生物科学特論 生物科学特論 生物科学特論	2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1	大平 金沢 安積 井上(和) 鈴木(季) 鈴木(祥) 15 小谷 鈴木(季) 安積 (休講) (休講) 本郷 久米	個体生理学 生物物理化学 分子遺伝学	2 2 2	小笠原 小谷 泉	機器分析演習	2	16					46 36
C群	関連科目	解析A群 解析 線形代数A群 線形代数 数学演習 数学入門 物理学入門 化学入門 生物学入門 微積分入門	2 2 2 2 1 1 1 1 1	土井 酒井 加藤 川島 岸 山口(勝) 山野 2 3 (休講) (休講) 5	解析A群 解析 線形代数A群 線形代数 数学演習	2 2 2 2	紀 土井 川島 岸 山口(勝) 山野	応用数学 解析 幾何学 線形代数 地学概論 離散数学	2 2 2 2 2 2	山口(豪) 長 本間 酒井 伊藤 山口(寿) 松尾 中山	応用数学 確率統計学 地学概論 電磁気学 熱・統計力学 複素関数論 量子力学	2 2 2 2 2 2 2	山口(豪) 山下 長澤 本田 知久 長 粕谷	地学実験 電磁気学 熱・統計力学 量子力学	2 2 2 2	山口(寿) 木村(敬) 知久 川東			知的所有権法	2	吉井					24	

1 井上(和) 小谷 安積 大平 豊泉

2 堀口 大川

3 粕谷 菅沼

4 泉 安達 久保田 若山

5 長 井上(満)

6 井上(和) 小笠原 鈴木(季) 安達 安部 市川 河合 北島 永島 横山

7 鈴木(祥)

8 小笠原 加部 川本 木原 中田 西本 平田 知久 本田

9 金沢 新井田 笠間 佐藤(武) 田中(徳) 広谷

10 小笠原 渡辺(毅) 齊藤(光) 梨本 畑中

11 川本 木原 西本 山口(和) 力石 渡邊 松永

12 渡辺(毅) 梨本 畑中

13 水野 粕谷 星野 本田 朝日 岩佐 小林(敏) 齋藤(和) 齋藤(保)

14 金沢 日野 河合 若山

15 鈴木(祥) 安達 安部 若山

16 天野 加部 木原 鈴木(季) 西本 中西 松原

17 泉 金沢 小谷 箸本 日野 安積 大平 鈴木(祥) 豊泉

18 安達 安部 市川 河合 北島 永島 横山 若山

19 小笠原 安部 久保田 若山

20 泉 井上(和) 小谷 安積 大平 豊泉 安達

21 小笠原 金沢 鈴木(季) 箸本 日野 鈴木(祥) 安部

(再履修科目 担当者)

(後)解析 (長) (後)線形代数 (土井) (後)物理学入門(菅沼 水野) (前)生物学概論 (小笠原 金沢 鈴木(季) 箸本 鈴木(祥) 豊泉)

2014年度 理学部 生物科学科専攻科目教育課程表(2012・2013年度入学者に適用)

【備考】

印はコース別選択必修科目を示す。○印は原則としていずれか一方を選択履修する科目を示す。 は配当期変更科目を示す。 新設科目を示す

【履修要件】

- 1 同一科目は重複して履修することはできない。
- 2 専攻科目A群の科目は、上位年次の科目を履修することはできない。
- 3 印の授業科目を履修する場合は、原則としていずれか1科目履修することとし、かつ上位年次の履修はできない。また、履修制限をする場合がある。
- 4 他学部他学科が受講を認めない授業科目は履修できない。
- 5 「生物科学実験」は、次の科目の単位を取得した者でなければ履修できない。
(1)「生物科学実験」3単位
- 6 「科学技術英語」は、外国語科目「上級英語」「中級英語」「初級英語」「基礎英語」から2単位、「上級英語」「中級英語」「初級英語」「基礎英語」から2単位の組み合わせで4単位を修得した者のみ履修できる。
ただし、未修得者であっても、工業英語検定3級以上及び実用英語技能検定2級以上に合格している者は、履修することができる。
- 7 「数学演習」は、「解析」「線形代数」の履修者が履修できる。「数学演習」は、「解析」「線形代数」の履修者が履修できる。
- 8 (解析A群)と(解析B群)の両方にまたがって単位修得した者については、(解析A群)科目の単位のみを卒業要件単位として認める。
- 9 (線形代数A群)と(線形代数B群)の両方にまたがって単位修得した者については、(線形代数A群)科目の単位のみを卒業要件単位として認める。

【コース制】

- 1 1年次から「生化学・分子生物学(A)コース」、「個体・細胞生物学(B)コース」及び「自然史・生態学(C)コース」に分かれる。
- 2 コース登録は、1年次の履修登録時に行う。
- 3 コースの変更を希望する者は、2年次当初又は3年次当初に学部長に申請し、許可を得ること。

【卒業研究・履修資格】

- 1 3年以上在学し、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち106単位以上を修得した者。
(1)FYS(First Year Seminar)2単位、外国語科目4単位を含む基礎科目から25単位以上
(2)卒業研究及び輪講を除く主要科目の全ての科目

【学外単位認定制度】

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の単位とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。
ただし、2012年度の入学者については、この限りでない。

- (1) 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- (2) 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- (3) 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

【生物科学科卒業要件】

授業科目 入学年度	基礎科目				共通基礎専門科目群		専攻科目				合計
	F Y S	外国 語科 目	教養系科目		キ ャ リ ア 形 成 科 目	必 修 科 目	選 択 必 修 科 目	A 群	B 群	C 群	
2012・2013 年度入学	2	4	12	7		4	2	27	10 36	24	128
			25			6			46		

- 1 4年以上在学し、学則所定の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。
- 2 基礎科目から25単位以上修得すること。25単位を超えた単位は、8単位までC群の関連科目に算入することができる。
- 3 キャリア形成科目は、3単位まで卒業要件単位に算入することができる。
- 4 共通基礎専門科目群必修科目4単位および共通基礎専門科目群選択必修科目2単位の計6単位を修得すること。共通基礎専門科目群の卒業要件単位数を超えた単位は、C群の関連科目に算入することができる
- 5 主要科目から27単位修得すること。
- 6 専攻科目B群から次の内訳で46単位以上修得すること。46単位を超えた単位は全てC群の関連科目に算入することができる。
(1)基礎系科目から10単位以上
(2)生物系科目から36単位以上
- 7 関連科目から24単位以上修得すること。
- 8 別表のコース別必修・選択必修科目表の単位修得要件を満たすこと。
- 9 総合理学プログラムから生物科学科に分類された学生は、総合理学プログラムの卒業要件に従って履修した専攻科目の修得単位を生物科学科の専攻科目に置き換えることができる。
- 10 他学部他学科の科目及び理学部他学科の専攻科目を履修した場合、20単位まで関連科目に算入することができる。
- 11 2012年度入学者:教職課程登録者で教職に関する科目のうち「教科教育法 (理科)」,「教科教育法 (理科)」,「教科教育法 (理科)」,「教科教育法 (理科)」,「教職論」の10単位に限り、上記10と併せて関連科目20単位の中に算入することができる。
2013年度入学者:教職課程登録者で教職に関する科目のうち「教科教育法 (理科)」,「教科教育法 (理科)」,「教科教育法 (理科)」,「教科教育法 (理科)」の8単位に限り、上記10と併せて関連科目20単位の中に算入することができる。